

# 白月 (しろつき)



## 特徴

- 歯ざわり感が良い小蕪専用品種。
- 純白で光沢もあり、裂根なく玉揃いが良い。
- 肉質は柔らかく、多汁で甘みが強いのでサラダ等にも向く。
- 葉は半立性でコンパクトなので倒伏が少ない。

### ■栽培適期表

地域	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
高冷地				●	●	■	■	■					
一般地	●	●	●	●	●	■	■	■					
暖地	●	●	●	●	●	■	■	■					

記号説明 ●:播種 —:栽培期間 ■:収穫期間 (---):トンネル栽培

## 栽培方法

- 植えつけの2週間前に、1m<sup>2</sup> 当たり 100～150g の苦土石灰を散布し、よく耕しておきます。幅 60～80cm の畝を立てて表面を平らにし、条間 30cm をとってすじまきにします。覆土した後、表土をしっかり押さえてタネと土を密着させ、たっぷりと水やりをします。
- 発芽後、本葉 1～2 枚で株間を 3cm に、本葉 3～4 枚で 6cm に、本葉 5～6 枚で 12cm 程度にします。間引き後は株元へ土寄せしておきましょう。間引きは、肥大を促す重要な作業です。適期を逃さず、早めに行うようにします。
- 発芽するまでは、土が乾かないように注意します。発芽後、肥大開始までの 10 日～2 週間は乾燥させないように管理してください。

- 基本は全量元肥施用としますが、2 回目の間引きから生育をみつつ、生育が思わしくない場合、液肥を与えずみやかな肥大を促します。

## 栽培のポイント

- 高温期栽培では地上部の生育が旺盛となりやすいため、元肥の過剰施用には注意してください。
- 小蕪専用品種です。やや大玉で用いる場合などは過乾燥などのストレスをかけないよう適湿管理をこころがけ、スムーズな肥大を促してください。

皮がすりと剥ける

皮と一緒にスジも剥ける

